

一般質問通告書一覧表

令和5年6月13日招集
第24回嘉手納町議会定例会

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	12番 金城利幸	1. 防錆整備格納庫建設問題を終結させたくない町長の強い決意と行動を求めたい	<p>1952年4月28日にサンフランシスコ講和条約が発効し、日本が国際社会に復帰した一方、沖縄は米国の施政権下に置かれた「4・28」「屈辱の日」となった。</p> <p>「よりによって、この日に」米空軍嘉手納基地が計画する防錆整備格納庫の建設問題で、日本政府は計画見直しを求めている嘉手納町に対し、米軍が計画通りの場所に建設すると伝えた。この衝撃的な報道を見た嘉手納町民はもとより「悲惨な戦禍とその後の基地被害を知る」世代をはじめ全ての沖縄県民にとって基地が集中する沖縄の未来への不安はさらに深くならざるを得ない。</p> <p>本町では令和4年9月から今日まで毎定例議会で、この問題について議員諸兄からの質疑・提案が繰り返されている。それだけに今回の日本政府の説明を受けて「嘉手納町民の命と暮らしを守る行政と議会の立場」としては、これで問題の終結として黙認することは断じて許される事ではない。</p> <p>當山町長にとっても昨年来の関係機関への要請行動をはじめ多面に渡る交渉を重ねている事と拝察する。私はその労をねぎらうと同時にこれでこの問題の終結として位置付けてはならない事を強く求めるものである。當山町長の想いと強い決意を求めて以下伺いたい。</p> <p>(1) 日本政府の町側への伝達を受けて當山町長の想いは。</p> <p>(2) 今後の町としての対応・行動を求める。</p> <p>①地域行政懇談会。(経過報告説明・町民意見の聴取)</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	12 番 金城利幸	<p>1. 防錆整備格納庫建設問題を終結させたくない町長の強い決意と行動を求めたい</p> <p>2. 心身にさらなる影響被害を及ぼす爆音激化へ行政・議会共に対策強化を</p>	<p>②行政・議会合同での防衛・外務機関からの「必要性、安全性の丁寧な説明」の再度実施。(嘉手納町庁舎にて)</p> <p>③町民大会決行。(町長訪米行動に向けて)</p> <p>④町長と玉城県知事合同での訪米で関係先へ要請行動。</p> <p>(3) 防衛省と外務省からの伝達説明会の際に以下の質疑応答はあったか。</p> <p>①総論</p> <p>(ア)日本側の提案内容。</p> <p>(イ)嘉手納飛行場所在機の防錆処理の部分的な補修で飛行の安全性の確保。</p> <p>(ウ)防錆格納庫外への騒音増加抑制対策、及び日本環境管理基準(JEGS)に従った環境対策の遵守。</p> <p>②施設と作業の概要と必要性</p> <p>(ア)嘉手納飛行場を利用する航空機の安全性の確保と周辺住民の安全確保。</p> <p>(イ)サビ落としや再塗装は機材とスプレー塗装で手作業。</p> <p>(ウ)手のひら2つ程度以下の面積の修復を基本としてそれより大規模な修復は本国にて実施。</p> <p>③パパーループでの建設の必要性</p> <p>(ア)格納庫の高さと面積から米側の関連規則に基づき滑走路から規定の距離分。</p> <p>④最後に</p> <p>(ア)岩国飛行場所在の防錆整備格納庫。</p> <p>嘉手納基地のF15戦闘機の退役作業に伴い連日、国内外からの外来機の配備飛来が続き昼夜を問わず爆音が激化している。その騒音量はF15戦闘機の訓練時より激しくなっており、心身に及ぶ不快感が増大化している。</p> <p>人々が日常の暮らしの中で自宅の窓や扉を開けて外の空気の入替えを行っているが、最近の爆</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	12 番 金城利幸	<p>2. 心身にさらなる影響被害を及ぼす爆音激化へ行政・議会共に対策強化を</p> <p>3. 狭隘な嘉手納町に暮らす高齢者</p>	<p>音量の激しさはこれまでにない環境悪化が生じて生活に支障をきたしている。</p> <p>本年 2 月に議会の基地対委員で空軍第 18 航空団を訪ね騒音防止協定の順守の検証を求めた要請の説明では、F 15 が何機帰還したかや、外来機のローテーションの内容は戦略上答えられないとして、隊員は運用に従っているとの回答。</p> <p>その一方で日々、道の駅からその離着陸訓練の現状を目視しているが、F 35 B・F 35 Aステルス戦闘機、F A 18 E スーパーホーネット、F 22・F 16 戦闘機その他戦闘機が確認されている。中でも F 35 B・F 35 Aステルス戦闘機の騒音は F 15 との比較にならない程激しい。離着陸やタッチ・アンド・ゴーが繰り返されての騒音も激しいが、特に滑走路内での急旋回・急上昇の騒音は 104 デシベルを確認している。この急旋回・急上昇の騒音が風向きにも影響すると想定するが、町民住宅上空を飛んでいるような激音となっていることも確認している。以下提案を含めて町の被害把握状況を伺いたい。</p> <p>(1) 在来機 F 15 と外来機の騒音量の違いは。 (データ)</p> <p>(2) 離着陸音と急上昇・急旋回の騒音の違い。 (データ)</p> <p>(3) 激音による地響きと身体への影響。 (町民のクレーム)</p> <p>(4) 急上昇・急旋回時の騒音は町民の心身被害の影響が激しいことから、滑走路内での急上昇・急旋回訓練を禁止して別の方法を求める。(空軍第 18 航空団・防衛省・外務省)</p> <p>(5) タッチ・アンド・ゴーの回数の削減を求める。 (上同)</p> <p>国土交通省はこれまで無電柱化は、防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成の観点から実施してきたが、近年、災害の激甚化・頻</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	12 番 金城利幸	<p>の安全対策として無電柱化の促進で快適な歩道改良を</p> <p>4. 嘉手納町民共同墓(永代供養)の創設を提案する</p>	<p>発化、あるいは高齢者の増加等により、その必要性が高まっている。同時に台風や豪雨などの災害時の電力や通信の強靱性強化も求められているとして無電柱化推進計画（法律）を定めている。これを受けて令和4年に沖縄県や那覇市でも同計画が策定されている。嘉手納町でも国土強靱化地域計画2022年（令和4年3月）で「防災上重要な道路の整備、緊急物輸送の確保避難路・緊急輸送路・消防活動困難区域の解消等としての機能を有する道路整備の推進のひとつとして無電柱化の促進対策を図る」としている。</p> <p>嘉手納町においては①米軍基地がある狭隘な土地面積のため、人口の増加が困難。②少子高齢化で要介護人口の増加。③空き家対策問題（後継者等）。そして④高齢者増加に伴う車椅子の歩道利用者対策。</p> <p>近隣市町村に比べ少子高齢化の進捗度が速くなることが予測される本町の今後に向けて、狭隘な嘉手納町に暮らす高齢者の安全対策として無電柱化の促進で快適な歩道改良の具体的な実施を提起して以下伺いたい。</p> <p>(1) 町の無電柱化の基本的な事業方針は。 (2) 現在の無電柱化の実施済場所とその目的理由・成果。 (3) 今後の無電柱化の実施計画とその目的理由。 (4) 「字嘉手納2番地地区の密集市街地まちづくり」での無電柱化を。 (5) 事案（場所・環境）によって異なるコスト問題と対応。 (6) 本町では防衛省関連予算の活用も。</p> <p>県は「人口が減っても生活の質を維持して住民が暮らしやすい持続的な地域づくりの推進」を提起している。</p> <p>本町においても正に人口の減少と高齢者の増加、そして介護問題が懸念される中、介護職者の高齢</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	12 番 金城利幸	4. 嘉手納町 民共同墓(永 代供養)の創 設を提案す る	<p>化問題も今後のあらたな課題となり始めている。一方で継承管理者の不明な「空き家問題」をはじめ「子や孫に負担をかけたくない」「墓を受け継ぐ子どもがいない」「できれば墓じまいを」などと沖縄でも核家族や少子化が進み、このようなケースの悩みの方々が次第に増えている。</p> <p>最近、身近な町民の方々から同様の悩みと相談の出る数が増えてきており、私自身も特に意識して拝聴しているのが、その中で「那覇市民共同墓：合葬式墓・短期収納骨堂を備えた焼骨の埋蔵又は収蔵を行う施設」のような同様な施設が嘉手納町でもできないかという関係者の皆さんの願いである。もちろんこの事業の仕組みは綿密な調査研究と運営手法など多面的に考察する必要があると考える。以下提案し検討課題として伺う。</p> <p>(1) 読谷村は村運営火葬場「よみたん斎苑」を持ち無縁仏納骨堂に 175 人の遺骨を納め村長・職員で毎年の清明祭の時期に供養を実施しているとのこと。嘉手納町の無縁仏に関する状況は。</p> <p>(2) 町民のニーズ調査を含め町として今後「那覇市民共同墓など」の事例に学び「嘉手納町の独自手法による共同墓など」の運営の調査検討を実施しては。世代間に意識の差はあると想定する。(年齢と時期環境他)</p> <p>(3) 嘉手納町では用地の確保の困難と推察するが、嘉手納町・読谷村での行政組合方式での施設運営も一考の価値があるのでは。</p>	町長 當山 宏
2	5 番 花城勝男	1. 中学校部 活動地域移 行を問う	<p>去った 1 月に文教厚生常任委員会で、中学校部活動地域移行先進地の大阪府守口市へ県外行政視察を実施した。2021 年度にスポーツ庁委託事業で生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革実現のために、課題を洗い出し解決に向けた実践取り組みを行っていた。そして、中学校部活動における生徒・保護者の部活動改革について(目的・目標)の共有理解を得ることが必要</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	5 番 花城勝男	1. 中学校部活動地域移行を問う 2. かでな道の駅観光事業及び立体駐車場を問う	<p>であり、地域指導者の確保と費用負担のあり方についても協議ができています。一方では保護者への理解促進や、詳細な費用負担のあり方等、事業が実施できる部活動は限られた部活動数から始めるとのことである。2022 年度に部活動検討委員会 10 人（委員長、副委員長、拠点校／3 名、地域より／2 名、実施団体等／4 名、大学教授アドバイザー／1 名）を設置し、2023 年度より段階的移行を実施する街である。以下を問う。</p> <p>(1) 中学校部活動地域移行と学校の働き方改革の両立を実現するための①今までの取り組み状況は。②現状と課題は。③中学校の部活動数と外部コーチの人数及びスポーツ地域団体の数は。</p> <p>(2) 子ども達及び先生方と保護者、地域指導者、地域団体への（目的・目標・費用負担）の理解促進は。</p> <p>(3) 中学校部活動地域移行検討委員会の設置は。</p> <p>(4) 今後の推進スケジュールは。</p> <p>かでな道の駅がリニューアルオープンして1年が経過し、去った4月には3階に併設している学習展示室がリニューアルオープンした。町外からの学校修学旅行生や観光客及び町民の方が訪れている。また、学習展示室では基地被害の現状や騒音悪臭体験室等、映像音声や年表、漫画等で分かりやすく展示解説されている。新型コロナウイルスの規制緩和で嘉手納町観光産業振興の柱として、かでな道の駅は今後の活性化が期待される。ついては以下を問う。</p> <p>(1) 観光プロモーション事業の概要は。また、嘉手納町観光事業の最新年度売上額と道の駅売上額割合の概要は。</p> <p>(2) 1階テナントの農産物直売所空き店舗の現状と課題は。今後の方向性と行政の考え方は。</p> <p>(3) コロナ禍以前2019年と2020年～2022年の期間とかでな道の駅がリニューアルオープンして</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	5 番 花城勝男	2. かでな道の駅観光事業及び立体駐車場を問う 3. パークゴルフ場補助事業を問う	1 年間（2022 年）の総額売上額、客数、客単価、その他主要な活動イベント実績比較は。 (4) 2023 年度かでな道の駅の総額売上額、客数、客単価、及び主要な活動イベント計画は。また、中長期の総額売上額、客数、客単価、活動イベント計画の主な概要は。 (5) お客様専用駐車場とテナント業者の駐車場の配置状況は。及び駐車場の現状と課題は。 (6) 今後の総額売上額増と誘客増目標を考えると、立体駐車場の設置と防衛局所有土地での駐車場確保の必要性があると考えるが、行政の考え方は。 (1) ユンタンザパークゴルフ場事業の概要実績は。 (2) 北谷・砂辺パークゴルフ場が令和 5 年 4 月にオープンした。北谷町と協定を締結しユンタンザパークゴルフ場と同等の嘉手納町民使用負担金補助事業ができないか。	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
3	8 番 安森盛雄	1. 入札の在り方などについて問う 2. 物価高上昇による町民の影響は 3. エイサーまつり	入札は当然に公平公正に行わなければならない。そこで、以下を問う。 (1) 備品等の入札で 1 社しか扱えない仕様書等を作成してないか。仕様書作成のチェックなどはどうに行われているか。 (2) 入札以前にコンサル等で 1 社しか扱えないメーカー商品が設計に組み込まれていないか。あれば、誰がチェックできるのか。 (3) これまでにそのようなことはなかったか。 今月から電気料が約 2.1%値上げすることが決まった。町内全体に悪影響を及ぼすことと想定するが行政としてできることはないか。 3 年ぶりに行われるエイサーまつりの場所はどこを想定しているか。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	8 番 安森盛雄	4. 優先発注を	沖縄防衛局へ地元企業や物品・印刷などを含めて優先的に発注を進めているか。	町長 當山 宏
4	3 番 仲村 一	1. 肥料価格高騰で農家支援を 2. 公民館に 室外灯等の 設置を 3. 特別支援 学級を問う	<p>肥料価格の高騰が続いている中、価格上昇を受け、国はコスト上昇分の 70%を補助し、県は 20%の補助事業に取り組んでいる。また、2022 年 11 月から 2023 年 3 月に肥料を購入した農家を対象に上昇分の 15%の補助事業を始めている。期間は 6 月 12 日まで申請を受け付けている。昨年 6 月から 10 月分に関し県内 6,000 人の農家が県の補助を受けたと新聞報道があった。それを踏まえたうえで、以下何点か伺う。</p> <p>(1) 農家の定義は。 (2) 町内の農家の件数は。 (3) その方たちにこの事業をどのように告知したのか。 (4) 昨年度、嘉手納町において何名の農家が、この補助を受けたのか。 (5) 農家に該当しない方々に対して今後の対応は。</p> <p>南区コミュニティーセンターの室外灯及び多目的広場の照明がつかなくなって長いことなる。学校帰りの生徒やゲートボールを終えた年配の方たちがひと休みする場所である。 冬場は 6 時前から暗くなり真っ暗になる。防犯上好ましくないと思えるが今後の対応を伺う。</p> <p>近年沖縄県において、自閉症・情緒障がい学級に通う生徒が年々増加していると聞く。2010 年の 272 人から 2019 年には 3,389 人と 12.5 倍に急増している。近年は毎年 500 名ずつ増える傾向にあると聞く。発達障がいの認知が高まったせいもあるが、本町においても増加していると聞く。以下何点か伺う。</p> <p>(1) 両小学校、中学校の対象生徒数は把握してい</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	3 番 仲村 一	3. 特別支援 学級を問う	るか。 (2) 1 学級の生徒数は。 (3) 今後の課題と計画は。	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
5	4 番 志喜屋孝也	1. 高齢者見 守りサービ スに水道ス martメー ターの活用 を問う 2. 3 世代同 居、近居への 補助金を問 う 3. 自動販売 機による募 金を問う	各家庭などの水道利用量が遠隔で自動的に把握 できる「スマートメーター」を導入する自治体が 増えている。 「使用開始を確認しました」と、見守られる側の 高齢者が朝に一定量の水道を使うと、登録してい る家族らに「元気メール」が届く。スマートメー ターの活用を伺う。 (1) スマートメーターの他市町村の取り組みを伺う。 (2) スマートメーターのメリットとデメリットは。 (3) これからの本町のスマートメーターの取り組 みは。 (4) 単身高齢者、高齢者世帯の見守りと現在の取 り組みは。 南城市は、3 世代で同居する世帯や 3 世代で近 所に住む世帯を対象に、引っ越し費用の一部や同 じ住宅に住む場合などに補助金を交付している が、事業の内容を伺う。 (1) 目的と補助金の内容と対象者は。 (2) 本町の 3 世代同居の世帯数と同居割合は何パ ーセントか。 (3) 近年の 3 世帯同居の世帯数はどのように推移 しているか。 (4) 補助金を活用し人口減少問題解決策としての 考えは。 飲料会社の自動販売機を通して、ひとり親家庭 を支援する取り組みがあり、県内の福祉団体では 初の試みで全国でもめずらしいということであ る。本町での設置について伺う。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
5	4 番 志喜屋孝也	3. 自動販売機による募金を問う	<p>(1) 飲料会社と提携し導入の検討は。</p> <p>(2) 募金の活用により、ひとり親家庭の未来ある子ども達へ取り組みの考え方は。</p> <p>(3) 本町の公共施設の自販機の台数と年間売り上げを伺う。</p> <p>(4) 現在公共施設設置の自販機は募金とか寄付等ができる自販機の設置はあるか。</p>	町長 當山 宏
6	7 番 古謝友義	<p>1. ハーリー大会中止と比謝川浚渫の早期着手を問う</p> <p>2. 熱中症対策を問う</p>	<p>新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、マスクの着用も個人の判断に委ねることになった。しかし今年こそはと楽しみに期待していたハーリー大会が中止になった。なぜか以下を問う。</p> <p>(1) 中止の理由は。</p> <p>(2) 比謝川の浚渫工事はいつから始まるか。</p> <p>(3) 沖縄県は嘉手納町でハーリー大会ができる唯一の漁港であり、その安全性を確保するといっているが県との調整は進んでいるか。</p> <p>(4) 県も576百万円の予算を確保している。早期の着手を要請しているか。</p> <p>(5) 県は5年での事業を計画しているが、早めの浚渫工事を要望しないと来年のハーリー大会もできなくなるのではと思うが見解を伺う。</p> <p>(6) 浚渫工事前に漁業組合の要望等を聞く話し合いは済んだのか。</p> <p>(7) 以前から大雨の後、比謝川上流から流木が大量に流入してくる。漁民の財産である漁船に被害が発生している。堰撤去後の対策は考えているか。</p> <p>(8) 浚渫工事中は仮設の船着き場を設けるのか。</p> <p>(9) 釣り人とのトラブルは起きないか。</p> <p>(10) 観光の目玉であるカヤックの対応策を検討しているか。</p> <p>もうすぐ暑い夏がやってくる。全国でも熱中症で救急搬送されるケースが増えている。町の対策を問う。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	7 番 古謝友義	2. 熱中症対策を問う	<p>(1) 熱中症警戒アラートが発表された時の町の対応は。</p> <p>(2) 室内でエアコンの推奨をしているが、電気代の補助は考えているか。</p> <p>(3) 真夏の炎天下で運動会練習はするのか。</p> <p>(4) 学校と消防の連絡網は取れているか。</p> <p>(5) 熱中症対策としてミストシャワーが設置されている箇所があるか。なければ設置する予定はあるか。</p> <p>(6) 熱中症特別警戒アラートが来年夏から実施されるが、町として避暑施設は完備しているか。</p> <p>(7) 一人暮らしの高齢者対策はできているか。</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
7	10 番 照屋唯和男	<p>1. 土地の有効活用を</p> <p>2. 今年度の町内イベントを通して町の活性化を</p> <p>3. 農業者の支援を</p>	<p>(1) 字久得地、町民の家周辺の原野地域の間を整備し有効活用する計画ができないか。今現在どのような計画がされているか。</p> <p>(2) 屋良第二児童公園の周辺においても土地の整備必要では。</p> <p>(3) 町内の土地の用途変更、見直しはどのように行うのか。</p> <p>コロナ禍においてこれまで中止されていたイベントが今年度から開催されると聞いているが、このぼりフェスタは開催したが、ハーリーは中止となるなど、嬉しく思うこととすごく残念である状況が起きている。今後、行う予定の町の主なイベントはどのようなものが実施されていき、これまでと違う内容はあるのか。規模や場所等また、その理由は何が挙げられるか。</p> <p>2014年2月に1次産業で盛り上げようと町のみらい案が提案されてからもうすぐ10年になるが、これまで担当課としての取り組みと結果をどう見ているか。特に農業生産物の販路拡大計画は。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	2 番 福地義広	1. 嘉手納基地パパループ内への防錆整備施設建設計画について	<p>(1) この問題については、4月28日に日本政府から計画の変更はないとの通告がなされた。當山町長はこれまで「日米両政府に強く働き掛けて、状況を注視したい。」と答弁してきた。しかし、結果は、嘉手納町民の懸念や不安は一切無視され「建設できる唯一場所」との結果だ。この結果について町長の所見を伺う。</p> <p>(2) 国からの説明については広報嘉手納6月号に掲載された。広報に掲載した理由を伺う。</p> <p>(3) 国は「具体的な場所を示しながら協議してきた」というが、国が示した具体的は場所とはどこか。</p> <p>(4) 国は、滑走路からの距離を取る必要性や大きな敷地の必要性、電気ガス水道の必要性からパパループ地区しかないとの結論に至った、と説明している。しかし、パパループ地区が住民地域に近接し、基地被害を受ける嘉手納町民にとっては最悪の選択である。本来なら建設を断念すべきであると考えますが、町民が受ける基地被害について国からの説明はあったのか。またこの点について町長の所見を伺う。</p> <p>(5) 格納庫内の作業について「あくまでも手のひら2つ程度以下の部分的な作業を手作業で行う」と説明しているが、手のひら2つ程度以下部分作業のために旧嘉手納野球場の面積で高さ30m（11階建てマンションに匹敵）の建物が必要なのか疑問であるが、この点について説明はあったのか。</p> <p>(6) 仮に事故が発生した場合は「速やかに外交ルートを通じて米側からの情報が提供されることになる。加えて、環境補足協定もあり、こうした枠組みを活用する」と回答している。しかし、河川湧水等から毎年PFASが高濃度で検出され、汚染源が米軍基地であるとの蓋然性が高いと指摘されている現状においてさえ、基地内立ち入り調査さえ認めない。国の説明をどのよ</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	2 番 福地義広	2. 学校現場における爆音被害調査について	<p>(1) 今回の調査で窓を開けた状態での騒音調査（基準は 55 dB）を実施しなかったのはなぜか。</p> <p>(2) 学校環境衛生基準 50 dB以上の値が測定された「令和 4 年 10 月 4 日午後 1 時 11 分から 16 分までの 5 分間」の戸外の騒音測定値はいくらか。</p> <p>(3) 基地渉外課の東区コミュニティセンター騒音測定値データ（以下「基地渉外課データ」という）によれば、令和 4 年 10 月 4 日午後 1 時 11 分から 16 分まで騒音データは観測されていない。戸外では観測されていないのに室内騒音が観測されていることについて、原因はどんなことが考えられるか。</p> <p>(4) 基地渉外課データでは調査期間の 10 月 3 日から 7 日までの騒音回数（70 dB以上で 3 秒以上）は 84 回。最高は 10 月 3 日 17 時 13 分 100.4 dB である。学校環境衛生基準の 50 dB以上を測定した日が 1 日だけというのは信じがたいが、どのように考えるか。</p> <p>(5) 教室内騒音測定は具体的にどのように測定したのか。</p> <p>(6) 前議会において「学校現場ヒアリングでも、授業中、窓を閉め切っていることから、騒音における授業中断は生じていないとされ、現在、学校環境に授業中断を伴うような大きな影響は生じていないものと思慮する。」と回答があった。戸外での授業への騒音の影響はどのように考えるか。</p> <p>(7) 戸外での授業への騒音の影響も含めて、学校環境における米軍機の騒音による影響について、どのように認識しているかあらためて伺う。</p> <p>(8) 学校環境衛生基準値を満たす学習環境を児童生徒に提供する責任主体はどこか。</p> <p>(9) 調査によって明らかとなった屋良小学校の実態について、今後どのように対応していくのか。また庁内他部署や県、文科省に報告し、改善策を求める考えはあるか。</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	2 番 福地義広	2. 学校現場における爆音被害調査について 3. 町役場における人事について	<p>(10) 過去に県内大学学長等連名による国に対する騒音対策、上空飛行禁止等の要請などが実施されているが、教育委員会等から国や米軍に対して直接要請するなどの措置が必要でないかと考えるがいかがか。</p> <p>(11) 騒音の測定時期について、8月、10月は夏季であり北谷町向け離陸が多い。沖縄市向け離陸の多い冬季においても調査が必要と思われるが、冬季調査の実施は可能か。</p> <p>(1) 町は町職員に対する人事評価は行っているか。また、その内容について伺う。</p> <p>(2) 嘉手納町職員の人事評価に関する規程は、人事評価の結果の活用について次のように定める。 第 11 条 評価者は人事評価の結果を職員の人材育成に積極的に活用するよう努めるものとする。 2 人事評価の結果は、被評価者の任用、給与、分限その他の人事管理の基礎として活用することができる。 前議会において當山議員の質問に「評価は人事管理に利用していない」との答弁があったが、規定との整合性が取れていないように考える。人事評価の昇給・昇格、昇任、人事異動等の人事管理にどのように活用されているか伺う。</p> <p>(3) 地方公務員法 23 条 2 項では「任命権者は、人事評価を任用、給与、分限その他の人事管理の基礎として活用するものとする。」とされている。本町人事評価に関する規定 11 条 2 項を、活用を義務付ける規定に変える必要があると思われるが、所見を伺う。</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
9	1 番 嵩原妙子	1. 介護ボランティアポイント制度の導入につ	高齡化の進展に伴い介護需要が増大しており、我が国の直面する重要課題の一つとなっている。介護予防の取り組みと共に、介護サービスの支え手の裾野を広げる手立てが必要と考える。介護支	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	1 番 嵩原妙子	成プラン」について 4. 生理の貧困について問う	きたす状況が続いている。そんな中、昨年4月に政府では女性の就労支援、女性の経済的自立、デジタル分野におけるジェンダーギャップの解消等を目的に「女性デジタル人材育成プラン」が決定された。以下を問う。 (1) 「女性デジタル人材育成プラン」の概要は。 (2) 町としての取り組み、見解を伺う。 現在の物価高騰、また、嘉手納町では小中学校においての要保護、準要保護児童数が全体の25.6%も占めることを鑑みて、児童に寄り添う一環として、女子児童トイレへ生理用品の無料配布の実施を提案してきた。以下を問う。 (1) その後の取り組みはあるか。 (2) 現時点での課題、問題点は。	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
10	9 番 新垣貴人	1. 旧中央公民館の跡地利用計画について 2. 嘉手納町地域防災計画について 3. 公共施設でのタトゥーの取り扱いについて 4. 高齢者タクシー料金	(1) 計画の策定はいつまでに行うのか。 (2) 跡地利用の候補となる事業は。 (3) 若年世代の人口増加及び定住化を図るため、若年層向け公営住宅の建設を提案してきたが、その見解は。 (1) パブリックコメントではどのような意見があったか。 (2) 火災、地震、津波、米軍機墜落、ミサイル着弾など災害ごとの計画は策定されているか。 (3) 町が主体となって行う町民対象の防災避難訓練の実施計画は。 (1) 施設利用の許可やその基準は。 (2) 教育関連施設における許可や基準は。 (3) 子ども達への配慮が求められる。学校等における対応は。(保護者の送迎、行事参加等) (1) 現時点での対象者数は。 (2) 助成条件の緩和について町民からの要望はな	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
10	9 番 新垣貴人	助成事業について	<p>いか。</p> <p>(3) 助成条件の緩和について検討会議は行われているか。</p> <p>(4) 多くの高齢者が活用できるよう助成条件の緩和ができないか。</p>	町長 當山 宏
11	13 番 奥間常明	<p>1. 定住促進事業について</p> <p>2. 交通対策について</p> <p>3. 教育行政について伺う</p>	<p>令和 4 年度人口減少対策住環境整備検討業務の経過説明及び結果について伺う。</p> <p>(1) 何項目あるか。</p> <p>(2) 家賃補助に関する項目はあるのか。</p> <p>(3) どのような検証をされたのか。</p> <p>(4) 令和 3 年度の人口減少対策検討業務委託料との関連性は。</p> <p>(5) 第 5 次総合計画後期計画にどのように反映されているか。</p> <p>(6) 嘉手納 2 番地地域南街区計画事業の進捗状況は。都市再生住宅の入居状況は。</p> <p>(7) 北街区計画について今後の見通しは。</p> <p>(8) 兼久海浜公園利用者駐車場を住宅用地に転用し、駐車場を公園内に立体駐車場にしては。</p> <p>(9) 町民の家周辺を住宅用地として開発しては。</p> <p>(10) 増え続ける空き家の入居促進を図るためにリフォーム補助金を創設してはどうか。</p> <p>水釜大木線の交通渋滞は時間帯によっては相変わらずの状況である。担当課も努力を重ねているが、根本的解消には至っていない。</p> <p>嘉手納バイパス海上案もあと何十年かかるか分からない中で、今でき得る対策として 74 号線を含めた信号機、横断歩道の再検討が必要と思われる。ベストでなくてもベターな改善策が求められるが、試案をお持ちであれば伺いたい。</p> <p>浦崎教育長の教育行政に対しての「所信表明」を伺いたい。</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	11 番 當山 均	<p>1. 防錆施設移設強行に対し、至急、町・議会・町基地対協及び自治会長会共同での反対表明を</p> <p>2. 公営墓地における一般公募区画拡大に向け再提案</p>	<p>今年 4 月 28 日、パパーループ地区内への防錆整備格納庫移設計画に関し、防衛省沖縄協力課長、沖縄防衛局長、外務省日米地位協定室長及び沖縄事務所副所長等が来庁し、対応した町長・議長・町基地対協会長に対し「現行計画での移設を進める」と日米両政府の協議結果を報告した。</p> <p>説明を受けた後の記者団の取材に対し、町長等は間髪入れずに「断じて容認できない」考えを表明したことから、私はこれまで「町長は次の一手に向け、タイミング・手法など熟慮されているのだろう」と推測し、町長の動向を注視してきた。</p> <p>しかし、1 月半余が経過しても何ら動きがないことに町民からは、町及び議会に対する「不安・疑念・苛立ち・憤り」が入り混じった叱咤を受けることが増えた。</p> <p>については、至急、町基地対協及び自治会長会に説明・理解を得たうえで組織内手続きを経て、町・議会とともに 4 者共同での「断じて容認できない」決意の反対表明することを提案する。町長の見解を賜りたい。</p> <p>本件については令和 4 年 12 月定例会一般質問で取り上げ、現町墓地整備基本計画（平成 27 年度～令和 7 年度）において計画した一般公募区画 50 区画の公募は実施済みだが、所管課としても「町民ニーズはまだあると感じている」との認識が示された。</p> <p>また、中間年次における現況確認については、「本計画の期間中に上位計画に位置付けている都市計画マスタープランの改定があることが判明し、その都市マスタープランに沿った形でこの計画自体が進んでいくことが望ましいと判断し、中間年次の現況確認は実施しなかった」との説明もあった。</p> <p>現在、策定中の新都市マスタープランは令和 6 年 3 月策定予定と聞く。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	11 番 當山 均	<p>2. 公営墓地における一般公募区画拡大に向け再提案</p> <p>3. 買い物困難地区解消に向け、更なる施策の充実を</p> <p>4. 町営住宅管理人報酬月額増額等に対する</p>	<p>については、現町墓地計画における対象期間を短縮し新都市マスタープランのスタートと合わせられるよう第2次町墓地計画の策定に着手し、早々に一般公募を実施するか、または現町墓地計画の一般公募区画数を見直して拡大させ、本計画期間中に追加して一般公募を実施することを求める。</p> <p>近年、東区・中央区内、県営団地付近の小売店が相次いで閉店し、地域住民は日常的な食料品や日用品の買い物に支障を来している。</p> <p>数年前から実施している「高齢者外出支援タクシー料金助成事業」を支援の一助にはなっているが、その地域には本事業の対象外の高齢者・自家用車を所有していない方も多数おり、根本的な買い物困難地区解消には至っていない。</p> <p>福祉の視点による施策のみならず、まちづくりの観点からも町行政横断的な施策の展開がさらに必要だと考え、次の質問を行う。</p> <p>(1) 現在、移動販売店(車)が巡回している場所・頻度・事業所名を問う。</p> <p>(2) 買い物困難地区解消に向け、「高齢者外出支援タクシー料金助成事業」以外に実施、または検討している施策はあるか。</p> <p>(3) 令和元年度にも、日常的な食料品や日用品を扱っている民間業者等と「(仮称)町内移動巡回事業契約」を締結したうえで移動販売車を貸与し、巡回頻度や場所を増設し、買い物困難地区解消に取り組むことを提案したことがある。</p> <p>既存の移動販売店と競合しないよう巡回場所・頻度等を配慮することは当然ながら、このような施策を検討することはできないか。</p> <p>令和4年9月定例会一般質問において、町営住宅管理人報酬月額増額の増額を提案。また、管理人1人当たりが受け持つ戸数は屋良町営住宅・水釜高層住宅・水釜第二町営住宅では異なるのに管理人</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	11 番 當山 均	検討結果を 問う	報酬月額が同額なことに疑義を呈したところ、「町 営住宅管理人との話合いの場で見直しの要望を受 けており、現在課内で検討している」との答弁が あった。その検討結果について問う。	町長 當山 宏
13	6 番 宇榮原京一	1. 公共駐車 場の管理運 営を問う 2. 観光振興 に関して	(1) 嘉手納町公共駐車場には、嘉手納町東駐車場 と中央駐車場があるが直近 2 年間の実績は。 ①ゲート式機械設備管理の収支は。 ②現状の入場から 15 分を超え 12 時間以内 100 円料金の見直しの検討を。 ③東駐車場の一部に立体駐車場を増設し、中央 駐車場を廃止する。更地となった中央駐車場 跡地に宿泊施設や商業施設等を誘致するなど の活用を検討しては。 (2) 嘉手納町再開発駐車場の経営は、有料化設置 当初から厳しい状況だと思うが直近 2 年間の実 績は。 ①ゲート式機械設備の現状と他の種類の導入の 検討は。 ②2 時間無料から 1 時間無料への見直しは。 (3) 新町駐車場(八茶坊前)の現在の管理状況は。 ①通り会(個店)及び関係機関との協議内容は。 ②これまで他の議員を含め提案してきたが、再 度有料化コインパーキングの導入を提案する が。 ③検討結果を踏まえて今後の方針は。 (4) 兼久海浜公園駐車場の現在の管理状況は。 ①兼久海浜公園リニューアル計画での駐車場の 配置は。 ②放置車両の対応は。 ③土地利用を図る上から立体駐車場を増設し、 空きスペースの活用を。 (1) 第 2 次嘉手納町観光振興基本計画の途中経過 として成果と課題は。 (2) 嘉手納町観光協会設立の目的と評価は。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
13	6 番 宇榮原京一	3. 水道行政 について	<p>(3) 観光プロモーション事業の目的と概要について。</p> <p>上下水道事業の経営において少子高齢化による人口減少と節水意識の浸透、水道管等の老朽化に伴い大量更新期を迎える中で、将来にわたり持続的な経営を確保するためには、経営見通しに基づく経営基盤の強化を進める必要がある。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 平成 29 年度より経常収支比率が 100%を割り、採算が取れていない状況であるが、現在では。</p> <p>(2) 沖縄県企業局は、電気料金や建築資材の値上がりで経営状況が悪化しているとして、市町村へ供給する水道単価を値上げする方向であるが、本町の上下水道事業への影響は。</p>	町長 當山 宏
14	14 番 田崎博美	1. 河川環境 整備事業に ついて	<p>比謝川の河川建設と環境保護、洪水、河川改修そして水質汚濁の歴史、過去の数年にわたって、ものすごい洪水の歴史が繰り返されました。住居や遊歩道、護岸もそのたび被害を受けました。堰の撤去が計画されている今こそ、近自然河川工法による改修を図り流水の復活（再活性化）嘉手納の人々の心のふるさと、ニライカナイのチムグクルを呼びもどすべきだ。</p> <p>(1) 水と緑のオープンスペースのうるおいの構築はいかにしてなすか。川原や河川敷を近自然河川工法による改修をしてはいかがか。</p> <p>(2) 水質浄化対策をいかに図るか、水車、滝、沢、せせらぎ、水生生物の住環境保全を図れ。</p> <p>(3) 河道整備と周辺空間を融合させる対策は。河川敷には八重桜、垂れ桜や花梅、さがり花（さわふじ）。</p> <p>(4) 水生生物の生態、ホタル、オオゴマダラ、メダカ、闘魚等の絶滅危惧種の保全対策を図れ。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
14	14 番 田崎博美	<p>2. 害虫の食害による防除対策</p> <p>3. 法定外普通税及びふるさと納税を活用し自主財源の確保を図れ</p>	<p>(1) 近年、松、でいご、かんきつ類の被害が増殖しているが、その対策について伺う。</p> <p>昨今、各自治体では自主財源の確保を図るべく、宿泊税、派遣型ふるさと納税、ふるさと支援納税等が導入されているが嘉手納町においても構想を練るべき時期と思われるが。</p> <p>(1) 法定外普通税の導入が図れないか。</p> <p>(2) 富裕層が持っている軍用地資産にふるさと納税の制度の周知を図り、自主財源の拡大を。</p>	町長 當山 宏